

善意の寄附金で高規格救急車2台を更新します

～きっかけは、まちで見かけた寄贈救急車～

1 経緯

当市では、令和3年度に救急車1台の寄贈を受け、贈呈者の名前にちなみ「井村号」と命名し、好調に運用しています。今回、「井村号」を見た寄附者の方が、「自分も人助けのために何かできるのでは」という思いを持ち、寄附の申し出をされたことから、緊急車両の中でも出動頻度が非常に高い高規格救急車2台を寄附金により更新します。

2 概要

- (1) 更新する高規格救急車は、東部地区を管轄する東出張所と、西部地区を管轄する西出張所の車両です。
 - ・ 救急2号車（平成24年度更新）
消防署東出張所配備：救急出場約1万5千回、走行距離17万6千km
 - ・ 救急3号車（平成25年度更新）
消防署西出張所配備：救急出場約1万7千回、走行距離21万5千km
- (2) 車両の名前は、寄附者のご家族の名前とする予定です。また、「車両名」と「春日井市消防本部」の文字書きを、高蔵寺高等学校、春日井西高等学校の書道部の生徒に書いていただき、「書のまちかすがい」を広くPRします。

3 更新時期等

- (1) 更新時期 9月下旬頃予定
- (2) 納車式 10月上旬頃予定

4 契約金額

62,999,998円



文字書き例
「井村号」

5 導入資機材(車両の特徴)

- (1) 自動心臓マッサージ機【LUCAS-3】(ルーカススリー)
心臓マッサージは心肺停止者の救命に直結する活動です。当資機材は狭い場所や長時間有効な心臓マッサージが必要な環境下で効果が期待できます。
- (2) 人工呼吸器【ANSWER】(アンサー)
従来の人工呼吸器よりも詳細な設定ができる資機材です。酸素濃度、回数、時間、量、気道内圧等の設定が可能であり、より効果的な酸素投与が期待できます。

